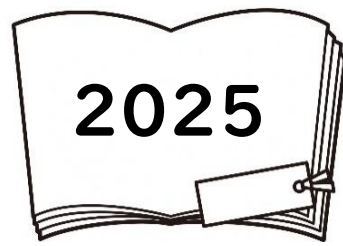
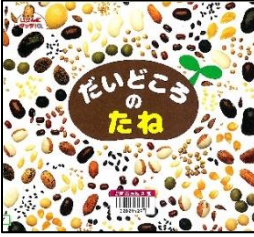


としょかん へきなんの図書館がすすめる なつやす 夏休みの本 ほん 2025

ねんせい む
(1・2年生向き)



としょかん ほんかん ぶんかん
図書館（本館・分館）におすすめる本のコーナーが作っています。ぜひ、^み見てみてね！
かしだしちゅう ほん よやく
貸出中の本は予約ができます。（^か借りられるようになったら^{れんらく}連絡します。）

『パパはたいちょうさん わたしはガイドさん』 ゴンサロ・モウレ／作 マリア・ヒロン／絵 PHP 研究所（E ヒ・パ） わたしはパパと手をつな^ていで学校へ行くのが大好き。目が見えないパパは、少しだけ見えるわたしを「ガイドさん」とよぶけど、わたしにとってパパはたよれる「たいちょうさん」です。だって、パパにはたくさんのものが見えているから。 	『きつねやまのよめいり』 わかやま けん／著 こぐま社（E ワ・キ） きつねのおよめさんは、きつねのよめいりみちをとおって、およめにいきます。しかし、とおりみちに どうろやスキーじょうがで、とおれなくなってしまう。どんどん とおまわりするうちに…。 
『へそまがりねこマックス』 ソフィー・ブラッコール／作 光村教育図書（E ブ・ヘ） ほごねこシェルターからマックスをひきとったぼく。でも、なつかないマックスを、かぞくはシェルターにかえそうとします。マックスとはなれたくないぼくは、なんとかしようと あることをすると、なんと、マックスがすりよってきてくれて…。 	『シロナガスクジラ』 加藤 秀弘／ぶん 大片 忠明／え 福音館書店（E オ・シ） ちきゅうにいるどうぶつの中でいちばん大きいシロナガスクジラ。どんな海にいて、なにを^{うみ}食べ、どのように^{そだ}子育てするのでしょうか？ 
『きょうりゅうのわかっていること・わかっていないこと』 きのした さとみ／ぶん よしもり ひろすけ／え 小学館集英社プロダクション（E ヨ・キ） ティラノサウルスの うで が みじかいのは なぜ？ ステゴサウルスのせなかの いた は なんのため？ きょうりゅうについて、わかっていないことは、まだ たくさんあります。 	『だいどころのたね』 ひさかたチャイルド（615ダ） みんなが食べている ごま やポップコーンが、じつは「たね」だと知っていましたか？^{そだ}だいどころには、たくさんのたねがあります。ためしに育ててみませんか？  『クルミの森のニホンリス』 ゆうき えつこ／作 福田 幸広／写真 小学館（489ク） ニホンリスはクルミが大^{だい}こうぶつ。食べ^たる^{すく}ものが^{ふゆ}少なくなる冬を前に、クルミをうめたり、かくしたりするのですが…。 



『もっとおおきなたいほうを』
二見 正直／作 福音館書店（E フ・モ）

おうさまは、川に^{かわ}魚^{さかな}をとりにきたキツネをおっぱらおうと、たいほうをうちました。キツネは、にげていきましたが、おうさまのたいほうより、もっと おおきな たいほうを もってきて…。



『パンのかけらとちいさなあくま』
内田 莉莎子／再話 堀内 誠一／画 福音館書店（E ホ・パ）

まずしいきこりから パンをぬすんだ ちいさなあくまは、おおきなあくまから おこられます。さらに、「きこりのやくにたつことをするまでかえてくるな」といわれ、きこりのために おぎばたけをつくったのですが…。



『となりのじいちゃんかんさつにつき』
ななもり さちこ／作 理論社（913 ナ・ト）

なつやす
夏休み、かんさつにつきをつけるつもりだった あさがお をからしてしまった ようたは、となりの家のあさがおをかんさつすることにします。ある日、ようたは、となりの家にすむおじいさんが、たおれているのをみつけて…。



『すみれちゃんとようかいばあちゃん』
最上 一平／作 新日本出版社（913 モ・ス）

すみれには、ひいおばあちゃんがいます。やまおくにある ふるい家にすんでいて、てんぐやきつねとはなせるので、「ようかいばあちゃん」とよんでいます。すみれは、そのようかいばあちゃんの家におとまりすることになり…。



『パインさんのごちゃまぜかんばん』
レオナード・ケスラー／さく 大日本図書（933 ケ・パ）

まち
町のかんばんがふるくなり、文字がよめなくなったので、すべてのかんばんをつくりなおしたパインさん。いざ、つけかえにいこうとすると、メガネがありません。メガネのないままかんばんをつけかえたせいで、町中 おおさわぎに！



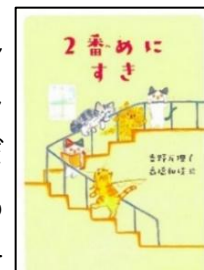
『いもうとなんかいらない』
ロイス・ダンカン／作 岩波書店（933 ダ・イ）

メアリー・ケイは、うんざりしていました。いもうとのスザンヌが、いつもじぶんのじゃまばかりするからです。そこで、スザンヌをだれかにあげてしまおうとかがえます。いろんな人たちにこえをかけ、ようやくもらいてをみつけますが…。



『2番めにすき』
吉野 万理子／作 くもん出版（913 ヨ・ニ）

ナッチのかようネコの学校に、てんこうせいのプリシラがやってきました。プリシラはナッチたちに、「ともだちの中でもとくべつな、一番のともだちがほしい」と言うのです。ナッチは、プリシラの一番になりたかったのですが…。



『ルイージといじわるなへいたいさん』
ルイス・スロボドキン／作・絵 徳間書店（933 ス・ル）

ルイージは、バスにのってバイオリンのレッスンにかよっています。バスの中では、へいたいさんが、じょうきゃくのにもつをチェックします。ある日、鼻の長いへいたいさんが、ルイージにべんとうばこをあけさせる^{なか}と、中のケーキを指でつぶしてしまったのです。

